



財団創立者 山崎貞一氏

1. 設立の経緯

山崎貞一TDK株式会社第2代社長(牧之原市出身)は、少年少女の科学する心の芽生えを育てることを願い、昭和58年私財を投じて「財団法人山崎自然科学教育振興会」を設立した。現在は、財団の名称を「公益財団法人山崎自然科学教育振興会」と変更し活動が続いている。初代の理事長は実弟の元静岡県議会議長 山崎勝二氏です。

2. 財団の事業

少年時代から科学する心の芽を育て、科学性・創造性豊かな青少年の育成をめざして、以下の事業を行っています。

1. 顕彰事業 (成果を重視して表彰する山崎賞)
2. 助成事業 (研究する意欲を支援する助成金)
3. 啓発事業 (科学教室の開催、講師派遣、講演会・研修会支援)

3. これまでの実績

助成事業(研究助成) 1～38回

児童・生徒	697件	学校	200件	教員	210件
助成金総額		108,205,000円			

顕彰事業(山崎賞) 1～40回

児童・生徒	1,873件	学校	144件	教員	226件
副賞金総額		111,240,000円			

第38回(令和6年度)

研究助成金伝達式

1 開 式

2 代表理事挨拶 代表理事 安倍 徹

3 選考経過報告 選考委員長 新林 章輝
(県立小笠高等学校長・県理科教育協議会長)

4 助成金伝達

5 来賓祝辞 静岡県教育委員会
教育長 池上 重弘

6 発 表 「研究への抱負」
モデルロケットをより 静岡大学教育学部 2年 足立 礼臣
安定に高くとばすには 附属浜松中学校
サツマイモの完全水耕 県立掛川西高等学校 1年 鈴木 悠輝
栽培の成功に向けて

7 閉 式

日 時 令和6年6月30日(日) 午後 1時30分

会 場 静岡県職員会館「もくせい会館」
静岡市葵区鷹匠3-6-1 TEL <054> 245-1595

第38回（令和6年度）研究助成（児童・生徒、学校、教員）

小・中学校の部

児童・生徒の部（21件）

番号	学校名	学年	氏名（代表）	指導教員名	研究主題
小1	浜松市立篠原小学校	4	山下晏寿	石津谷礼子	コンポストの研究2
2	浜松市立篠原小学校	6	山下瑞喜	石津谷礼子	カラスの研究4
3	浜松市立雄踏小学校	5	飯尾明香里	和久田正明	セミの研究 Part 4
4	浜松市立雄踏小学校	5	有菌朋希	和久田正明	ほくのひまわり5 ～効率よく大きく育てるには～
中1	浜松市立篠原中学校	3	山下颯梧	鈴木翔登	ヌートリアの研究 part 4
2	浜松学芸中学校・高等学校	3	山田耕平 水谷架士羽	伊藤信一	水質浄化とゴミ回収を目指すカモ型ロボット
3	御前崎市立浜岡中学校	1	河原崎 希	宮下滉平	イシクラゲの研究 -part 3-
4	静岡大学教育学部附属島田中学校	1	伊藤映人	大久保正樹	イモリの研究 5 産卵孵化幼生命のリレー
5	静岡大学教育学部附属静岡中学校	1	小泉尚志	落合哲也	探せ!!身近にある石 パート6
6	三島市立錦田中学校	3	石川真麻	長谷川賢治	クモの巣の粘球の強度は? ～粘力の秘密5～
7	三島市立北中学校	2	薄井夏樹	大立目朋希	植物に存在するナノビラー殺菌構造の発見
8	浜松市立雄踏中学校	3	有菌彩奈	平野雄基	朝顔の観察9 ～花の色、形を変えるには～
9	藤枝明誠中学校	3	五藤大馳	池田飛雄磨	昆虫の口ひげと働きについて
10	静岡大学教育学部附属浜松中学校	2	大石康介	中澤祐介	海のみステリーサークルをpythonで描く
11	静岡大学教育学部附属浜松中学校	2	足立礼臣	中澤祐介	モデルロケットをより安定に高く飛ばすには
12	静岡大学教育学部附属浜松中学校	2	松本夏楓 田村綾那	中澤祐介	擬態した昆虫に鳥は騙されているのか?
13	静岡大学教育学部附属浜松中学校	2	内山楓雅	中澤祐介	ほくの都市鉱山物語 ～酸化剤編～
14	静岡大学教育学部附属浜松中学校	2	柴田千歳	中澤祐介	ひずむと熱が発生する? イオの火山の不思議
15	静岡大学教育学部附属浜松中学校	3	杉田陽祐 ほか13名	中澤祐介	天神森と竜神森から考える都市緑地の未来
16	静岡大学教育学部附属浜松中学校	3	戸田なつみ	樫尾昌憲	ゴキブリ徹底解剖
17	焼津市立豊田中学校	3	市川 迅	杉本 寛	「カラスウリの花」の開閉の仕組み

学校の部（1件）

番号	学校名	職名	氏名（代表）	校長氏名	研究主題
小1	静岡市立安倍口小学校	校長	森竹高裕	森竹高裕	地域と共に歩むSTEAM教育

教員の部（4件）

番号	学校名	職名	氏名（代表）	共同研究者	研究主題
中1	藤枝市立青島中学校	教諭	高橋政宏		自己調整学習を実現する魅力ある題材開発 2
2	菊川市立菊川西中学校	教諭	藤原 僚		STEAM教育を意識した理科の授業開発
3	伊豆の国市立大仁中学校	教諭	守野和弘		「もっと」を追求できる理科の授業づくり
4	伊豆市立修善寺中学校	教諭	大川翔平	落合孝弘	地域の温泉水を活用した理科授業

高等学校の部

生徒の部（22件）

番号	学校名	学年	氏名（代表）	指導教員名	研究主題
高1	浜松日体高等学校	2	山田健人 ほか4名	河合克仁	藍の葉を利用したインジルビンの選択的合成
2	浜松学芸中学校・高等学校	1	山本業帆 山田耕平	伊藤信一	アリが植物に登ると訪花昆虫が減少する?
3	浜松学芸中学校・高等学校	1	中野友美恵 水谷架士羽	伊藤信一	遠州の空っ風はなぜ強い?
4	浜松学芸中学校・高等学校	1	宮野智矢 勝谷恵伍	村上 拓	干渉色 vs Mie 共鳴 ～ビスマスの色発生～
5	浜松学芸中学校・高等学校	2	小林将大 ほか2名	伊藤信一	コンテナビオトープで生物多様性を創出
6	浜松学芸中学校・高等学校	3	渋谷美澪 ほか3名	伊藤信一	ツメタガイはおいしいアサリをどう探す?
7	浜松学芸中学校・高等学校	3	檜崎晃生 ほか5名	伊藤信一	昆虫の翅にみられる数学的構造多様性
8	県立静岡高等学校	3	杉山水香 ほか4名	杉本恭規	静岡市有度丘陵を構成する更新統の堆積環境
9	県立焼津中央高等学校	2	谷澤陸斗 ほか14名	矢追雄一	環境DNAと海洋ゴミを用いた魚類相解析
10	県立葦山高等学校	2	永田るり ほか2名	富川友秀	伊豆半島産の砂鉄の性質の違いに関する研究
11	県立掛川西高等学校	1	鈴木悠輝	山下和晃	サツマイモの完全水耕栽培の成功に向けて
12	県立掛川西高等学校	2	望月滉太	山下和晃	身近な植物からの植物性乳酸菌の探索
13	県立掛川西高等学校	2	大沢慧人	山下和晃	速度と距離は空気抵抗にどう影響するか
14	県立掛川西高等学校	2	田崎圭一郎 ほか4名	伊東瑞貴	長距離飛行を可能にする翼の条件
15	県立掛川西高等学校	2	沖 遼志 ほか4名	鈴木秀倫	環境に優しいシャンプー作り
16	県立静岡城北高等学校	2	副島美樹 ほか11名	高橋秀平	静岡市市街地の地下水研究
17	県立静岡城北高等学校	2	江河歩美 ほか4名	高橋秀平	地域の竹害調査 ドローンと画像認識の活用
18	学校法人静岡理工科大学静岡北高等学校	1	石川颯志 ほか4名	内野和紀	モーターを速く
19	学校法人静岡理工科大学静岡北高等学校	2	植木悠太 ほか2名	塚越汐里	長尾川の渇水期における魚類の生存戦略
20	常葉大学附属橋高等学校	2	久保田果恋 ほか8名	中村奈緒子	身近な河川のマイクロプラスチック調査
21	県立沼津工業高等学校	3	関根 晶 菊地慶樹	渡邊翔太	おが粉とシュレッダーダストの有効活用
22	県立浜松北高等学校	1	田中宏征	堀 典子	強化学習による恐竜の理論的四足歩行の獲得

学校の部（2件）

番号	学校名	職名	氏名（代表）	校長氏名	研究主題
高1	県立葦山高等学校	教諭	富川友秀	小川圭一	高校生を中心とした地域理科教育活動の推進
2	県立下田高等学校	教諭	荻野真宏	山崎文則	校種を超えた理科探究活動と地域連携

教員の部（6件）

番号	学校名	職名	氏名（代表）	共同研究者	研究主題
高1	県立葦山高等学校	教諭	渡邊充司	奥山綾香(松崎) 田邊麻衣(葦山)	探究学習を利用した地元産業への協力
2	県立伊豆伊東高等学校	教諭	渡邊伸一	海野 徑 (加藤学園高校)	科学体験活動を通じた県東部の活性化
3	浜松学芸中学校・高等学校	教諭	伊藤信一	杉浦亨一(入野中) 滝口大生(三方原中)	持続可能な自然科学部の活動に向けて
4	浜松学芸中学校・高等学校	専任講師	村上 拓		探究的な学びを見据えたプログラミング教材
5	静岡県立松崎高等学校	教諭	奥山綾香		西豆地域におけるジオ学習について
6	県立下田高等学校	教諭	荻野真宏	吉田亮祐 (葦山高校)	ポリエチレン袋の構造解析と気体透過の解明